

創刊号

# MGIC News

《お問合せ先は》 〒981-3117 仙台市泉区市名坂字石止56-1  
協同組合 宮城県地理情報センター

TEL・FAX 022-373-6607 URL <http://www.mgic.or.jp>

## GISのNPO法人とは？

協同組合 宮城県地理情報センターを構成する10社は、NPO法人全国GIS技術研究会の会員でもあり、その会員数は190社を超えています。任意団体である東北GIS技術研究会は現在35社で構成され、今年8月30日に郡山市で全国縦断セミナーの開催を予定しています。

## 電子国土とは？

国土地理院が作成した電子地図で、インターネットを利用することにより、国土に関する様々な情報を統合して幅広い分野で活用できる機能を備えています。背景地図は国土地理院から最新の情報が無償で配信されますので、背景地図のメンテナンスは一切不要となっています。

## 「横浜 みなとみらい」の夜景



## NPO法人 全国GIS技術研究会 第3回 全国大会 開催

7月6日、JICA 横浜においてNPO法人の全国大会を開催いたしました。山下理事長の挨拶に続き、総務省情報通信政策局大出主任による次世代GISの実用化に向けた研究開発の取り組みに関する講演、(社)地図協会星埜理事長によるご挨拶として電子国土に対する熱い思い入れをお話し頂きました。

国土地理院 地理情報部の藤村係長  
(下の写真)



今年のテーマは  
「電子国土Webシステム」

続いて国土地理院地理情報部の藤村係長より電子国土Webシステムに関する最新情報のご講演、(財)日本地図センターの牧野主査による電子国土技術講習、その構築事例を協同組合 宮城県地理情報センター 技術部会長の阿部より紹介しました。(裏面に事例を掲載)

協同組合 宮城県地理情報センター  
技術部会長 阿部輝男 (左の写真)

全国各地から参加した会員 (下の写真)



デモンストレーションにも思わず熱がはいる！  
当センターの技術部員 (下の写真)



講演研修終了後、展示会が行なわれ、会員は各地区のシステムを見学しました。展示内容は、自治体で利用される「道路・都市計画管理」のほか、地域に密着した「ハザードマップ・観光マップ」、地域で子どもの安全を守るための「安心・安全マップ」等が紹介されました。この日飛び入りで参加した国土地理院GIS推進室浅野補佐からは「電子国土に関してはどしどし意見や要望を頂きたい。できることはやっていきます。従来とは違います。」とのコメントがありました。展示会終了後、各地区代表による縦断セミナーに向けた決意表明がなされました。閉会の挨拶では、NPO法人全国GIS技術研究会の増沢副理事長より、「ここ数年振り返れば、我々は確実に実力を付けています。この地理院様の言葉に応えるためにも、我々が電子国土等を活用し、自治体に積極的にアプローチする責務を負っています。それをきっかけに電子国土のさらなる普及へ結びつけていけるよう、全員が努力していかなければなりません。」という言葉で、全会員は決意を新たにしました。

# 『電子国土Webシステム』のご紹介

## ◎ 宮城県 文化財保護課ホームページ「宮城県遺跡地図」より

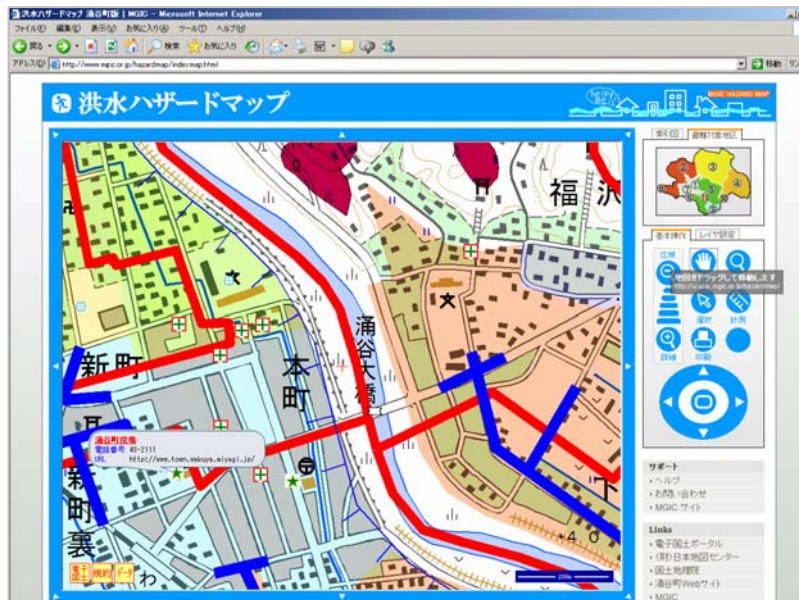
現在、地理情報システム（GIS）に組み込まれている発掘の調査結果や遺跡範囲のデータを変換して電子国土を利用し、公開しているものです。

なお、地図制御機能等については職員の方が作成し、当組合ではGISデータの変換業務を受注しました。



【URL [http://www.pref.miyagi.jp/bunkazai/webgis\\_densikokudo.htm](http://www.pref.miyagi.jp/bunkazai/webgis_densikokudo.htm)】

## ◎ 協同組合 宮城県地理情報センターのホームページで「涌谷町洪水ハザードマップ」を公開しています。



【URL <http://www.mgic.or.jp>】

《お問合せ先》

協同組合 宮城県地理情報センター

〒981-3117 仙台市泉区市名坂字石止 56-1

<TEL/FAX>022-373-6607

<e-mail>info@mgic.or.jp